

事業所名

放課後等デイサービスぱすてる志木教室

支援プログラム

作成日

2025年

3月

31日

法人(事業所)理念		【企業理念】 スタッフの笑顔が子供とその家族の笑顔を作る。笑顔の連鎖を作り地域社会に貢献する 【企業ビジョン】 夢と希望を持って福祉、介護職に携わり三方良しの精神で係る全ての人を幸せに					
支援方針		① 通所児童の円滑な発達支援と社会的自立の促進 ② 厚生労働省、こども家庭庁の掲げる5領域(「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」)を網羅し、質の高い支援を実現する ③ 各活動を通じ、子どもたちの自尊心・自己肯定感・自己効用感の醸成を図る ④ 様々な地域交流機会を提供することでインクルージョンの推進を行う。					
営業時間		10 時	00 分から	19 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり
支援内容							
本人支援	健康・生活	・来所後のスケジュールをホワイトボードに記載し、視覚的に明確化することで、時間を意識する習慣を育てるとともに、スケジュールに沿って行動する力を身につけられるよう支援する。 ・手洗いや消毒、身の回りの整理整頓など、衛生習慣の徹底を通じて、健康を維持するための基礎的な行動を定着させる。 ・人物のイラストが描かれたプリントに季節ごとに適した服装を考えて貼り付ける活動を通じて、季節や気温に応じた服装選びの力を育む。					
	運動・感覚	・映像を使ったビジョントレーニングを取り入れ、視覚情報の処理能力や反応速度を高める。また、映像に合わせて目の動きや視覚的な注意を集中させることで、視覚的な認知機能の向上を図る。 ・製作活動を通じた微細運動の支援と、リズム運動やボール運動などの粗大運動をそれぞれ実施し、身体機能や感覚統合の向上を図る。 ・リズムに合わせて指定した動きを行ったり、上半身と下半身で異なる動きを組み合わせたりする活動を通じて、コーディネーション能力を高め、身体をよりスムーズに動かせる力を養う。					
	認知・行動	・ゲームの中で様々な条件やルールを設け、それに合わせて指定された動きをすることで、ルール理解や注意力、問題解決能力を高める。 ・架空の状況に対してどのように対処するか、また何の道具を使って切り抜けるかを考える活動を通じて、問題解決能力や創造的思考を促進する。複雑な状況を分析し、適切な対処方法を考える力を育てるとともに、計画的に行動する力や適切な道具を選択して実行する力を養う。 ・実際に起こる様々なシチュエーションを職員が演じたり、ロールプレイを行って客観的に物事を見る機会を設けることによって、ハイコントラスト知覚の傾向を和らげ、物事を多角的に捉える力を養う。また、振り返りを通じて、柔軟な認識を促進し、状況に応じた適切な行動を選択できる力を養う。					
	言語 コミュニケーション	・グループワークやチームで取り組む活動を通して、他者と協力しながら意見を伝えたり受け入れたりする力を育む。 ・自由時間でのボードゲームなどの遊びを通じて、他者との会話や意見交換の機会を増やし、自分の考えを言葉で伝える力を育む。また、ルール理解や対話を通じて、相手の意図を受け入れながら円滑にコミュニケーションを図る力を養う。					
	人間関係 社会性	・チームで一つの目的を達成する活動を通じて、協力や役割分担の重要性を学び、集団の中での適切な行動を身につける。 ・実際の場面を想定したロールプレイを行うことで、社会的なルールや他者とのコミュニケーション能力を向上させる。 ・自由時間で異年齢の子どもとの遊びを通じて、お互いの違いを理解し、尊重する力を養うとともに、協力やコミュニケーション能力を育む。					
家族支援	・子どもの発達や支援方法に関する情報を家族に提供し、必要に応じてアドバイスを行う。 ・支援サービスの利用方法やその他の支援機関、地域資源を紹介する。 ・家族との定期的な面談を行い、子どもの支援に関する意見交換、家族が抱える問題や悩みに対する相談支援を行う。				移行支援	・教材や道具の準備、片付けを習慣づける練習を通じて、自己管理能力を育成させる。 ・中学校進学を見据えた準備として、新しい集団生活に適応するためのコミュニケーションスキルや時間管理能力の向上を図る支援を行う。	
地域支援・地域連携	・地域の公共施設(児童館、公園など)に積極的に行き、子どもたちが地域社会と関わる機会を提供する。 ・地域のお祭りやイベントに参加し、子どもが地域社会の一員としての意識を育む。 ・担当者会議や子ども部会を通じて、支援に関する情報共有や課題解決を行い、地域との連携を強化するとともに、地域社会とのつながりを深める。				職員の質の向上	・毎週1回の職員研修や、県が実施する研修に積極的に参加し、専門知識や支援スキルを向上させる。 ・子どもの支援に関する資格の取得を支援し、専門性を高める。 ・定期的に自己評価や振り返りを行い、職員一人一人が自身のスキルや課題を把握し、支援に反映させる。	
主な行事等	・ハロウィンパーティー ・クリスマス会 ・三事業所合同モルック大会 ・複合型アミューズメント施設やアスレチック施設での運動 ・体験型学習施設の見学						